



SHIRO MATSUI

between here and there is
better than either here or there

松井紫朗 ココトソコノアイダ

2013年 9月21日[土]→12月23日[日]

札幌宮の森美術館

開館時間:10:30-19:00 (入場は閉館30分前まで) 休館日:火曜日

観覧料(企画展+コレクション展示):一般800円 シニア(60歳以上)高大生600円 中学生以下無料

会場:札幌宮の森美術館 札幌市中央区宮の森二条11丁目2-1MMG お問い合わせ:011-612-3562

主催:札幌宮の森美術館 後援:札幌市、札幌市教育委員会 企画:NPO法人CAPSS(芸術文化支援機構)

松井紫朗《Aqua-Lang Mountain》(部分)2005/撮影:山本糾

MIMAS
札幌宮の森美術館

松井紫朗 コトソコノアイダ

SHIRO MATSUI, between here and there is better than either here or there

1960年生まれ、松井紫朗は、京都市立芸術大学彫刻科に在学中の83年より作品発表をスタート早くから「関西ニューウェイヴ」の担い手のひとりとして注目されました。ミニマリズム、コンセプチュアリズム、日本では《もの派》など、60-70年代を通じて大きな影響力をもった一連の動向が終息に向かう中、彼らはイズムや流行におもねること無く、「描くこと」「つくること」への強いこだわりを持って、自由かつ独自の表現を求めていきました。

90年代初頭から、シリコンラバーによる艶やかで独特の重力感をもつ作品を手掛けるようになった松井は、それまでも抱えていた人間の知覚、空間認識への関心をより鮮明にしていきます。ホースのように延びた管状の空洞は、作品の内に外部の空間を取り込むと同時に、そこを見る者の意識と想像力が出入りする奇妙な知覚体験をもたらします。さらに90年代後半からは、膜構造体やチューブ状の巨大なバルーンを使ったサイトスペシフィックな作品を展開。展示空間に挿入されたもうひとつの世界という仕掛けによって、薄膜を隔てて双方を行き交う鑑賞者たちは、自らの想像力によって作品の全体像を把握しながら、色鮮やかな光の中で軽い目眩のような感覚に襲われていきます。こうした自らの作品を媒介としてひとつの空間の中に異空間を出現させるというアイデアは、ガラス容器に詰めた宇宙空間という途方も無い計画にまで発展しています。

本展「松井紫朗 コトソコノアイダ」では、90年代に制作されたシリコンラバーの作品やユニークな形状を持つ容器や水槽を使った作品に加え、《Garden Picture》と題された近作絵画、国内外で実現したインスタレーションの画像や資料等によって、アーティストの今日までの創作と思考の歩みをたどります。



1

松井紫朗（まついしろう）

1960年奈良県天理市生まれ／83年の初個展以来、多様な素材、ユーモアと理知を備えた独自の立体造形で、兵庫県立近代美術館の「ART NOW 85」展に選出されるなど、関西ニューウェイヴを担う若手のひとりとして注目を集める／91年よりシリコンラバーによる作品の制作を開始／97年テント用の素材を使った大作《The Way to the Artwork is Through the Stomach》を発表後、スパンデックスやリップストップと呼ばれるナイロン素材のバルーンを使ったサイトスペシフィックな作品を次々と展開。自然科学の原理を応用した作品等で、人間の知覚や空間認識に揺さぶりをかける／JAXA（宇宙航空研究開発機構）との共同実験では宇宙での庭作りや容器に詰めた宇宙空間の持ち帰りを試みる／京都市立芸術大学教授



2

■関連イベント

9月21日(土) 18:30ー

松井紫朗アーティストトーク(要予約) 料金500円

「科学や芸術は世界の不思議、真理を伝える」と語るアーティストが、宇宙での「作庭」実現化の過程で経験した、科学的な実証と芸術的な創造、双方からの探求でみつける日常世界の驚きを中心に、現在進行中の次なるアプローチまで、映像やデモンストレーションをまじえて語ります。

ご予約はお電話、メールにてお申込ください。

■旧館グラフィック・ギャラリー

日本現代版画のバイオニアたち

版画が芸術のジャンルとして確立されて行く、その先鞭を切った創作版画運動の時代から、戦後、現代版画の黄金時代を担った版画家、洋画家、日本画家の版画作品を中心に、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーンなど約100点を展示します。

*旧館グラフィック・ギャラリーは、平日の月水木金のみ一般公開

■ミュージアム・ショップ情報

HAKOMART2013より「スイーツの箱」をテーマにした箱を10/2-12/23まで期間限定、展示販売。1週間ごとにクリエイターの箱が入れ替わります。詳しくはHP、FB「HAKOMART」



3



4



5



6



7



8



9

1. 《Voice-Scope》と松井紫朗 1994
ドイツ、ザールブリュッケン市立美術館での展示
copper, 180 x 500 x 3000cm, Stadtgalerie Saarbrücken, Germany
2. 《Channel》1994
copper/ glass/ wood, 115 x 110 x 30cm
3. 《Channel》2010 愛知芸術文化センターでの展示
rip-stop, Aichi Arts Center
4. 《Loop-SB/P》2002
silicone rubber on canvas, 130 x 162 x 7cm
5. 《Garden Picture》2013 oil on canvas, 91 x 117cm
6. 《Garden Picture》2013 oil on canvas, 33 x 41cm
7. 《Garden Picture》2013 oil on canvas, 40 x 50cm
8. 《Green Flares》1999
silicone rubber/ wood, h126cm
9. 《Aqua-Lung Channel II》2005
glass/ water/ fish, 45 x 90 x 49cm

撮影：1 奈良美智／2, 4, 8 山本耕／9 宇佐美卓哉／3, 5, 6, 7 松井紫朗

MIMAS

札幌宮の森美術館

〒064-0952

札幌市中央区宮の森2条11丁目2-1 MMG

Phone: 011-612-3562 FAX: 011-612-3560

開館時間：10:30ー19:00 (入館は18:30まで)

休館日：火曜日(祝日と振替休日を除く)

駐車場：有り(結婚式場と併設のため、土日はご利用出来ない場合がございます。)

交通機関

JR札幌駅より車で10分/地下鉄東西線

円山公園駅より車で4分/徒歩17分

地下鉄東西線「円山公園駅」バスターミナルから

JR北海道バス 円14「宮の森シャンツェ前」行き、

円15「円山西町2丁目」「円山西町神社前」行き

乗車「宮の森1条10丁目」下車徒歩3分

e-mail: info@miyanomori-art.jp

URL: http://www.miyanomori-art.jp

Twitter: miyanomoriart

Facebook: 札幌宮の森美術館にて検索

